



ASSOCIATION OF



TOKYO

No. 28

発行 (財)東京都スキー連盟
〒102 千代田区麴町4-5
第6麴町ビル 551号
TEL (3262)2491(代)
発行日 1991. 5. 1
編集 SAT編集委員会
印刷 エース工芸株式会社

生涯スポーツのすすめ

(財)東京都スキー連盟

副会長 加藤 二郎

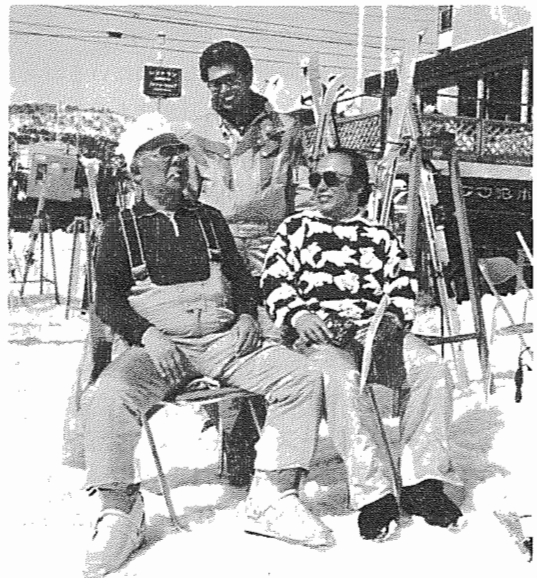
人生は健康で楽しいものでなければならないが、スキーと言う断面で眺めた場合、都連の活動は更に生涯スポーツとしての「いろいろなスキー」の指導と普及がそれぞれ具体的な形で展開されていって欲しい気がする。

人それぞれに自分の年齢の移りに従って自分がやりたいと思い、かつ自分に出来るスキーも変って行くであろうが、どんな世代にもどんなスキーにもまたどんな技術にも関係なく社交の場とすることの出来るスキー環境が整っていれば楽しい仲間のいろいろな輪は幾つにもつながって行きいつまでもスキーを楽しむことが出来るだろう。

この意味においてはまず都連が主催する各種の行事にはより多くの参加者がなくてはなるまい。多数の人が集まって初めて良い行事も期待出来ると言うものであるし良い行事であったとも言えるからである。しかし良いと自賛する行事に必ず人が集まるものでもなく企画側のひとり合点、伝達の不適、不足やタイミングのずれなどが問題であったりしてもがっかりする結果がおこる。

またリーダーたちはスキー連盟やスキークラブという団体が持たなくてはならない基本的な性格を強く認識することが殊に大切ではないかと思う。すなわち根本が趣味を対象とすることの団体と言えるが故に、参加者全体が自ら楽しむために参加すると言う大原則を少しでも念頭から離してはなるまい。だからリーダーたちは上位になればなるほど奉仕を基本とした振舞いが大切でそれぞれによって違う経済社会や法制社会との境界を心得た上でリーダー間のチームワークを固め全体のチームワークの推進を計らねばなるまい。

私は都連の有り様について前にも国際性に関わる事柄を重大な事項として考えることを唱えているが前述のことは益々我々が大切にしなければならないことだと思う。これから次のシーズンの時間となるのでいろいろ考え合いたいと思っている。



指導員研修会について

教育部理事 浜田 建司

例年のように、シーズン始めに車山高原、菅平高原で実施されました。毎年その年度の研修会テーマの伝達講習という事もある、各加盟団体から多数の指導員の先生方が参加されました。

内容については既に周知の事と思いますが、年々増えていく指導員の研修会について、色々のご意見もあるかと思えます。この辺で新しい企画を生み出して行かなければならぬ状況に追い込まれています。

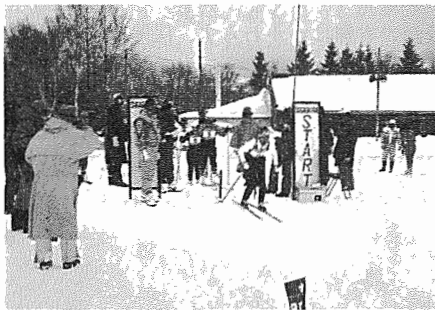
いずれシーズンが終了したら、先生方にもきたんのないご意見をいただいて、次年度に向けて充実した研修会を実施できるように考えて行きたいと思っています。

指導者養成講習会について

教育部理事 板垣 和男

今年度は、新しい企画として前期、後期と2度に分けての講習会を実施致しました。内容については、前期は基本的なスキー操作の習得を中心に、指導種目の理解を深めていただく事に重点を置いて、後期では、指導種目の復習と、実践種目を主体に展開されました。

指導に当たった各専門委員の話では、確かな手応えを感じたようですが、検定会の結果は良くなかったわけです。そこでこの企画の効果をより徹底していくために、各加盟団体の指導者養成の担当者を、養成講習会に参加していただけたらどうか、という意見も出ております。開催日程等も含めて、今後検討を重ねて行きますが、より多くの良き指導者を育成するために、是非皆さんの御協力を得たいと考えております。



クラブ対抗競技会



海和俊宏のFUNTOSKI
「最速をめざすスキー・テクニック」
海和俊宏著 定価1,300円(税込)2,200円

パラダイス・スキー倶楽部
「もっともっと楽しむスキーを、フリー
スタイルのみならずお教えします」
角首優人・工藤裕史・吉田光江共著
定価1,300円(税込)2,200円

沼田敦のフィジカルスキー書
沼田敦著 定価1,300円(税込)2,200円

新新スキー用具の手入れと保存法
土方あきら著 定価1,300円(税込)2,200円

マイ・ファースト・スキー
「自然流感覚的スキー上達法」
村里敏彰・篠崎雪男共著
定価1,300円(税込)2,200円

最新刊 91技術選PARADE
「最新28回全日本スキー技術選手権大会
税込価格2,980円カラー45分VHSのみ」

スキー図書・新刊
「自然流感覚的スキー上達法」
村里敏彰・篠崎雪男共著
定価1,300円(税込)2,200円

VTTR・SUSスキー研究シリーズ10
財全日本スキー連盟・監修

'91シーズン・新刊★好評発売中！
スキージャーナルの
スキー図書VTTR

株スキージャーナル
〒160東京都新宿区四谷3-11山一ビル
☎03(3353)3051 郵便振替・東京0-33504

91年度の競技部行事のうち、①クラブ対抗、都民大会②都回転選手権、青年スラローム③小学生チャンピオン大会④ジュニアの育成——という、特に成果のあったものについてご報告いたします。

1. クラブ対抗・都民大会

本大会については「都連創立55周年記念雪上行事」として、別のページで記録とともに報告されることになっていますので、ここでは主として技術、運営面から取りあげます。

(1) 人工雪の斜面

スラローム競技での菅平移転についての最大のメリットは、人工降雪による固い雪質の斜面を使用することによる「掘れないコース」です。

クラブ対抗当日は快晴となりましたが、予想以上に雪質は固く、当大会のような参加者の多い「マンモス大会」にもかかわらず、ゼッケンが遅い選手も早いスタートの選手に比較して不利な条件にならずに滑れたと思います。

今後「太郎」斜面の拡張・整備が進めば、ますます充実した競技会になると思います。また、菅平高原スキークラブの皆さんの全面のご協力に、深く感謝いたします。

(2) クロスカントリー

菅平へ移転の第2のメリットは、スラローム競技会場とクロスカントリー競技会場が隣接していることです。どちらの会場からも、選手・役員の姿が見え、運営の放送が聞え「一体感」があったと思います。

競技部としては、従来からクロカン参加者数の増加が課題でしたが、今回の競技会施設などを見て、クロカン参加者が飛躍的に増えないかと期待しています。

そのためには、以前から話題となってきたリレー競技に「女子組」「男子壮年組」なども、そろそろ取りあげて、さらにクロカン参加数を増やすことも考えたいと思っています。

(3) 海外派遣選手

クラブ対抗の成績などを中心に、競技選手1名をフランス、ラ・プラーニュに派遣することになり「成年2部優勝」の佐藤一正選手（二十日石）を選考、海外

遠征してもらいました。

今後も予算の許すかぎり続けたいと思います。

2. 都回転選手権・青年スラローム

本競技会の会場を、思い切って札幌テイネスキー場に移したわけですが、ほぼ予想した数の参加者に達したことと、西武百貨店、札幌スキー連盟の全面的なご協力もあって「成功した」と言えると思います。

来年はさらに企画を充実し、参加選手に喜んでもらえる内容にしてゆく考えです。

3. 小学生チャンピオン大会

本大会も第2回となり、76名の参加者を得てほぼ定着できたかと思えます。参加資格は、東京の小学生ならば都連登録の有無にかかわらず、保険料（300円）のみで参加できるものです。



公益法人である都連が「スキーの底辺拡大」を計って広く社会に呼びかけているものですから、来年以降も、参加者が飛躍的に増加することを願っていますし運営面でも、さらに充実する必要があるかと考えています。

4. ジュニアの育成

10数年来、ジュニアの育成を都連の大きな目標の一つとして努力してきましたが、父兄の熱心な協力と、都連コーチの献身的努力によって、ここ数年、都連ジュニアの中から全国大会での上位入賞が見られるようになりました。

その実力は、北海道、長野、新潟、山形、青森など「雪あり県」に「肩を並べる」直前まできていると思います。

都連として、長期的視点から選手、コーチの育成、

競技練習コースの確保など、ジュニア育成を計ってゆきたいと思います。クロカンのジュニアについても、夏期のローラースキー練習の充実などにより「雪なし県」でもがんばってゆくつもりです。

東京都スキー連盟、東京新聞・東京中日スポーツ共催

第44回 クラブ対抗競技会開催される

競技部理事 河崎 和夫

1. はじめに

国内で有数のマンモス団体である(財)東京都スキー連盟の55周年記念雪上行事として、菅平高原観光協会等の協力により第44回(財)東京都スキー連盟クラブ対抗競技会が3月2日(土)・3日(日)の2日間絶好のコンディションのなかで開催されました。

この大会は、アルペン種目とノルディック種目との総合点によりクラブ優勝の覇を競うもので、石打会場から菅平に移して約750名が参加するビッグゲームでした。

2. 総合成績

過去、28回優勝の東京スポーツマンクラブが前回優勝の世田谷区スキー協会から、覇権奪還なるかが見どころでしたが、世田谷区スキー協会の2年連続V5の結果でした。

ここで上位10位までを発表いたしますが、10位までの団体総合の表彰式を評議員会で表彰いたします。

1位	世田谷区スキー協会	得点	60
2位	東京スポーツマンクラブ	得点	52
3位	UNOスキークラブ	得点	28
4位	二十日石アルペンクラブ	得点	22
5位	港区スキー連盟	得点	20
6位	ヴェスタスキークラブ	得点	18
7位	GOD	得点	18
8位	東京都スキー研究会	得点	15
9位	東京ガススキー部	得点	15

10位 チロルススキークラブ 得点 13

同点の場合は、点数構成を審査して上位入賞の多寡により順位を決定しております。



3. 種目別成績(東京新聞杯受賞チーム)

(1) アルペンの部

1位	東京スポーツマンクラブ	得点	40
2位	世田谷区スキー協会	得点	34
3位	UNOスキークラブ	得点	28

(2) ノルディックの部

1位	世田谷区スキー協会	得点	26
2位	東京スポーツマンクラブ	得点	12
3位	KSC	得点	10

4. 海外派遣

都連の皆様のご利用ありがとうございます。
来シーズンもよろしくお願い申し上げます。



スイスダボス姉妹都市

東京都スキー連盟公認第1号スキー場

信州 菅平高原スキー場

今シーズンのご利用ありがとうございました。
来シーズンもよろしくお願い申し上げます。

菅平高原観光協会

〒386-22 長野県小県郡真田町菅平 ☎0268-74-2003(代)

当大会は、3月中旬に行われる都スキー連盟のフランス、ラ・プラーニュ遠征隊に男子成年1・2・3部のアルペン選手のうち、本大会および最近の大会に優秀な成績をおさめたもの1名を派遣することになっており、この結果、男子2部で優秀な成績をおさめた佐藤一正（二十日石アルペン）選手の派遣が決まりました。

5. 55周年記念雪上行事として

本大会はSATが創立して今年でちょうど55周年の節目に当たるとともに、菅平会場に移って初年度であるということ等を記念して開会式や競技開始時に趣向を凝らしました。

開会式では、宮原長野県連副会長、地元観光協会の渡辺副会長、桑田理事長を始め、正木真田町町議会議員等多数のご来賓を迎えるとともに、大原学園勇太鼓のアトラクションを交えて賑やかに開会式を行いました。

また、アルペン競技開始時に菅平観光協会のご好意により打ち上げ花火やバックミュージックで威勢をつ

けて、菅SAT副会長や上原菅平スキークラブ長等8名による3色の松明を持ってオープニング滑走で大会の幕をきっておとしました。

大変盛り上がった開会でありましたが、ただ残念なことは、到着を予定していた盛田会長が体調を崩されて不参加になられたことでした。

6. おわりに

2年続きで中止になったクラブ対抗は、菅平会場に移して好天にも恵まれて、大成功のうちに無事終了することができましたが、諸種ご不便の所もあるものと思われます。しかし皆様のご指導とご鞭撻を得て益々本大会が充実するよう努力する所存でございますのでご理解を頂きたいと思ひます。

最後に、参加された選手の皆様や競技役員、並びに観光協会小宮山事務局長等多くの皆様から頂いたご協力に対し、紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

(文責 河崎)

第44回東京都スキー連盟クラブ対抗競技会 (スラローム)

[各組別 上位3位迄の選手]

Aコース

組別	1位	2位	3位
男子少年	佐藤 公貴 (スポマン)	佐伯 耕助 (スキー研)	伴野武二郎 (板橋区)
〃 2部	佐藤 一正 (二十日石)	玉内 定志 (スポマン)	牧 毅 (東京ガス)
〃 1部	大盛 宏幸 (板橋区)	手塚 秀勝 (東京クラブ)	村山 光史 (スポマン)

Bコース

女子少年	片岡 里枝 (スポマン)	小島 瑞会 (スポマン)	田巻 美雪 (トルベ)
〃 2部	横森 久美 (特別区)	福原 真澄 (世田谷)	小菅みどり (世田谷)
〃 1部	上原 由 (ヴェスタ)	室田 陽子 (U N O)	加山 ユミ (G O D)
男子4部	徳増 伸司 (港 区)	牧田 竜彦 (スポマン)	佐藤日出男 (世田谷)
〃 3部	満山 洋一 (G O D)	相馬 芳則 (U N O)	桜田 修 (武蔵野)

Cコース

男子6部	加藤 博 (スキー研)	入沢 一次 (江東区)	天海 武久 (アリアント)
女子4部	深沢 睦子 (トルベ)	成田 紀子 (スキー研)	高木 敦子 (スラローム)
〃 3部	松本キヨ子 (世田谷)	佐藤ミツ子 (世田谷)	合 百合子 (スポマン)
女子ジュニア	加藤有里子 (M I X)	加藤 有香 (M I X)	
男子ジュニア	平本 佳暢 (町田市)	金子 道春 (M I X)	新井 教文 (青梅市)
〃 5部	稲垣 彰 (エスプリ)	関本 清 (葛飾区)	戸田 健一 (チロル)

第44回東京都スキー連盟 クラブ対抗競技会 (クロスカントリー競技)

※クロカン 4km・組別1位選手名

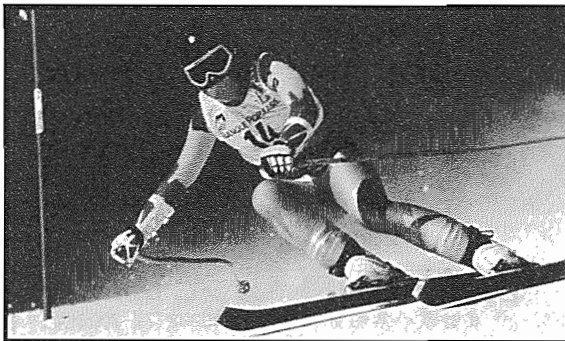
女子4部	山口 愛子 (スポマン)
〃 3部	土屋 博子 (都 庁)
〃 2部	渡辺 香織 (東芝府中)
〃 1部	上原 由 (ヴェスタ)
男子6部	佐々木栄一 (シール)
〃 5部	鳥海 幸一 (チロル)

※クロカン 8km・組別1位選手名

男子4部	土田 和美 (都 庁)
〃 3部	岡 宏 (世田谷区)
〃 2部	二野下雄二 (JR大井)
〃 1部	笛田 剛 (世田谷区)

※リレー 3位迄

1位	世田谷区スキー協会 (佐藤・岡・笛田組)
2位	渋谷区役所スキー部 (千山・鷹羽・遠山組)
3位	K・S・C (土屋・永井・西山組)



ザ・レーシング。

サロモンは、いつの時代もレーシングの世界を歩んできた。極限まで自身を高めていくレーサーとともに、サロモンもまたチャレンジを続けてきたのだ。ワールドカップ使用率No.1のビンディング。ゼロからの発想と創造で世界を制したブーツ。そして概念を超えた第3のギア、モノコックスキー。誰よりも速く、美しく、そして正確に滑走するために。サロモン・レーシングギア。

SALOMON®

フリースタイルスキー部

今シーズンは、12月のバレエ教室が雪不足のため中止となったが、その他の行事は全て開催できました。特に、5年ぶりに3種目共実施できたことは喜ばしいことである。

ここに、フリースタイルスキー部の行事に活躍中の田中由香選手のレポートをご紹介します。

第10回東京都フリースタイルスキー選手権大会（3.3.21～24 福島県・猪苗代リステルスキーファンタジアで開催）、第11回全日本フリースタイルスキー選手権大会（3.3.16～18 長野県・斑尾高原スキー場で開催）この両選手権大会で女子バレエ第1位の田中由香子選手（港区スキー連盟）は、去る2月、アメリカ、ニューヨーク州、レークプラシッドで開催された第3回世界選手権大会に出場し、素晴らしい演技を披露された。つぎは日本フリースタイルスキー界を代表するお一人である田中選手の奮闘記です。



世界選手権に参加して

田中由香子

国際大会に参加して2シーズン目に、この様な型で成績が出るとは夢にも思っていなかった。正月に体調を崩してしまった私はドクターストップがかかり、カナダのワールドカップをキャンセルするハメになった。練習も出来ず1週間の自宅療養の後、まだ完全ではない体調でアメリカに向かった。スタートは決して良いものではなかったが、休んでいる間精神的に強くなったのは大きな収穫だった。あせっても仕方がない、今自分の持っている力を100%出す事に専念しようと…。

アメリカ、ニューヨーク州、レークプラシッド、2月11日朝6時。第3回世界選手権女子バレエの日である。目覚まし時計より一足早く起きた私は、ゆっくり窓に近づきカーテンを開ける。まだ薄暗闇みの中かすかに陽の光が感じられ、“今日は私にとって最良の日になる”そんな予感でいっぱいだった。と言うのもここレークプラシッドは先シーズンのワールドカップで9位になったので、他の会場よりも愛着があるし相性がいよいよな気がするからだ。街から会場のホワイトフェスマウンテンまで車で約20分。会場に着くと試合用のカラフルなウェアに身を包んだ選手が続々と登場。いつもは陽気でフレンドリーな仲間達だが、今日は簡単な挨拶を交わしただけ。昨日の友は今日の敵、勝負のシビアさを痛感した。天気は私の心を象徴するかのような快晴で気温はマイナス10℃前後、コースのコンディションは雪が硬くしまった一枚バーンで申し分のない完璧な状態だ。一方私の心もとても落ち着いていて静かだった。何も感情はなく、ただ今迄トレーニングしてきた事を1つ1つ確実にこなすだけ、言い換えればいつものきまりごとをするだけと思っていた

から、あがるとか恐怖とか全く考えられなかった。スキーができて楽しただけそれだけだった。演技の最中は本当に心からスキーが楽しめ、余裕のあったせいか生沼選手や宮崎コーチの顔がよく見えた。“技が決まるたびにノってゆく私をもう誰も止められない”そんな感じがした。コースを出て松井理事、大槻委員長、宮崎コーチに迎えられても私は120%の滑りが出来た満足感と幸福感に酔っていた。電光掲示板に出たポイントは22.4、20人演技した時点で第6位、もしかしたら決勝という雰囲気が盛り上がる。正直言って今回は、予選に力を出し切るのが目標であり、決勝に関しては全く考えていなかったもので、楽しい反面困ってしまった。案の定決勝は浮き足立って自分自身を見失ってしまい、最低の演技で8位に終わった。しかし去年からの目標がクリアでき、ステップアップできた事に満足している。この大会で学んだ事はいろいろあったがまず1つは、結果はあとからついてくるという事。競技を心から楽しみ一生懸命すれば周りが自ずと認めてくれるのだ。そしてもう1つは、勝負は厳しく難しい、という事。その反面それを乗り越えた者は素晴らしい幸福感が味わえる。表彰式に参加して国旗があがって行くのを見て“今度こそは……”と自分自身の中で気持ちを新たにした。あと数年、限られた時間の中で後悔しないよう精いっぱい頑張りたいと思う。

最後にいろいろ御支援下さった松井理事、大槻委員長、バレエの松本、吉田、宮崎コーチをはじめとするコーチ陣の皆様、日本チームの方々本当に有難うございました。そして陰ながら応援して下さいる全ての方々に感謝します。

第14回 インタースキー参観記

国際委員会委員長・総務部長 二宮浩司

齊木が、譲が、そして沢田が……デモンストレーションのたびに次々に歓声があがる。それに応えてみせるデモたちのパフォーマンス。若いデモたちは何の躊躇もなく自己主張をしてみせる。

1月14日(月)、サンアントンのデモ会場はすっかりお祭り気分で盛り上った。

フィナーレは10名のデモたちにより、オーストリアの「A」から日本の「日の丸」へのフォーメーション「95年、野沢で合いましょう!!」。都合で演技こそ出来なかったものの、ここぞとばかり女子デモたちが横断幕を持って突然観衆の前に現われ“次期野沢”をアピール。

午前10時半過ぎに始まったデモンストレーションは約30分で幕を閉じた。あつけないと言えどもそれまでだが、やはり日本の発表にはギャラリーが多い。終了と同時に会場のヒナ段はガラ空きになってしまった。

スケジュールの都合から他国の発表を見ることはできなかったが、立ち並ぶ国旗、色とりどりのウェア、各国語のコンタミネーションの中に立って、いまやまったく世界のスキーは一つ。スキーは人種差や文化を超えて「世界共通の言語」であることを実感した。

ところで今回のオーストリアスキー研修は、参加人数こそ少なかったものの、内容は実に豊富でしかも充実したものだった。おそらく1日平均50km、期間中合計300kmは優に滑ったと思う。

全行程を通じて、Mr. ルードウィック・ビトナー氏(オーストリア、ナショナルスキートレーナー)とMr. ペピー・ピトル氏(オーストリア国家検定教師、インスブルックスキースクール校長)が、連日献身的にきめ細かなガイド役をつとめてくれた事に心から感謝し

ている。最終日にはペピーをはじめインスブルックスキー学校のスタッフから“バインシュピールテクニック”をたっぷり受講。全員がオーストリアスキー最上級の認定証を取得した。

また、夜ともなればチロル州観光局やインスブルック市観光局主催のパーティなど、実に暖かいもてなしを受けて、ついにチロルバンドをバックに皆んなでヨーデルまでやってしまった!!

帰路、湾岸戦争の煽りによってミュンヘン空港のチェックインでは色々なトラブルが発生。成田へ帰り着いてまたビックリ、スキーが無い。私の場合はスーツケースも無い。まったく身一つの帰国になってしまったが、なぜかあまり不愉快な気分にならなかったのは今回のツアーが今までになく楽しいものだったからだろうか。

参加者の方々から後日たくさんのお礼状を頂戴したが、その中の一通にいわく「家へ帰って3日後にスキーが到着。ケースをあけると中からパッと白いけむりが出て——やっと現実の世界に。また、多忙な日々が始まる」……と。

最後に大切な報告を忘れるところだった。そうです、次期インタースキーは'95野沢温泉に決定。



J&SRA

スキーインストラクター養成と スポーツ産業界の人財育成!!

学校法人 大原学園 **日本スポーツ・レクリエーションアカデミー** 専門学校

N・Zメスペンハイスクールと姉妹校提携校(英語研修)

学校見学随時 **寮完備** 〒386-22 長野県小県郡真田町菅平1223-763

●入学案内書無料贈呈

姉妹校の大原簿記学校はビジネス教育の名門です。

お問合せ ☎0268-74-3633

ラ・プラーニュでの雑感

No 81 朝日新聞山とスキーの会 渡辺 宏

ヨーロッパ・アルプスの山々は山巒に雪をまとい青空にそそり立っている。山肌の岩と雪のコントラストは厳しく荒々しい。

私はふと何んの関連もないあの、円空佛を想い出してしまった。薪に刻まれた素朴な鈍目の陰影が、そそり立つ山肌に相通じるものを深く感じてしまったのだ。

フランスのラ・プラーニュ・スキー場は広大で世界1、2を争うという噂を聞いていたが、噂どおり何処までも広く懐が深いスキー場である。峰をまたぎ谷を越してゴンドラが走る、適当な所にリフトやTバーが掛って雪のある所を有効に滑れるようにレイアウトされている。周辺の景観はいうまでもなく素晴らしいの一言に尽きる。

一方スキー学校は400名近くのインストラクターを擁し、今回都連創立55周年記念行事である指導員研修会参加者の為に、選ばれた数名をコーチとして派遣して下さり、2日間スキー場のガイドを兼ねて行動してくれた。

彼等は明るく朗らかでユーモアがあり、特に女性には大変親切であった。この辺りは今後大いに見習う必要があるであろう。

ガイドの適切さはいうに及ばず、その優れた技量は流石フランス国家検定スキー教師であることを思わせた。例えば滑り始める前に予定しているコースの雪質や、山岳気象特有の視界不良の時など、ジェスチャーを交えて一生懸命こちらに伝えようと努力している。幸い私の属した班には女性のSさんがいて通訳をしていただいたので、大いに研修の成果が上った。ここで紙上を借りて感謝しておきます。

どのコースも長い。やがて太ももがしびれる程滑ると、山頂からラ・プラーニュ・ビレッジへ帰り着くことが出来る。

又た途中の谷間のロッジで取った昼飯には、まむし酒まで振るまわれ、瓶の中でとぐろを巻いて浮いているまむしを見ては、流石都連の強者も少々たじたじ気味、中には精力増強の目的で飲んだ人もいたようだが。メインは各種ワインやチーズ類、フランスの山村ならではのご馳走で参加者が満足した賑やかな食事であった。

期間後半の1日オプションで、バルディゼルをバスで訪れて滑った。ここも流石に世界に名の通ったスキー場だ。麓の町にある高層マンション群の背後には山が迫り、メイン・ストリートの石畳や石積みの家並み、それに教会の塔を加え絵になる風景だ。

途中にあるダム正面には、水をせき止めているという構図でヘラクレスの絵が画かれていたが、日本ではちょっとこんな発想は無いのではなからうか。

ラ・プラーニュのスキー場の下部には、オリンピック用のポップ・スレーのコースもあり、ほぼ完成しているようだ。

宿舎は荘大なコンドミニウム式で、朝夕の食事は指定されたレストランで喰べたが、ぼちぼちフランスの山家料理に飽きた時は、持参した日本食や現地の1階商店街にあるスーパーで、材料を調達し作ったりした。

仲間のMr. Y・Hがプロ顔負けの素晴らしい味のステーキを作ってくれたのにはビックリしてしまった。こんな事も良いコミュニケーションになったようだ。

夜の歓迎パーティも楽しかった。Mr. S・PAVIET



ゴールドウインは選手を応援します。

FISワールドカップ、世界選手権、オリンピック、全日本スキー技術選手権、こうしたスキーの最高技術を競いあう大会をはじめ、あらゆる選手のスキーにそしてスポーツに対する情熱と意志にゴールドウインは共感の拍手を送っています。

山 Goldwin ゴールドウイン

SAJ03承認第541号 SAJ03承認第542号

・SALOMON 市長や、関係ある重要な人達も会場の
パブに姿を見せ、加藤副会長・岡田専務理事等を含め
た紹介や挨拶が形どおり行なわれて、セレモニーは終
った。

後はスキー学校の校長始め一緒に滑ったインストラ
クター諸君も破目を外して、飲んだり踊ったりだ。日
本側も夜の部では負けてはいない。中でもU女史など
は昼間人1倍滑っていて、ダンス・タイムでも1番ハ
ズンで乗っていて楽しんでた。昼も夜もで理想的な
スキー・ライフだと思う。

この夜は、八方の技術選が終り浜田理事と都連より
派遣された、春日、大盛、佐藤君ら3名が合流し賑や
かになった。

会の締めくくりは現地スキー学校の、上級終了証を
校長及び担当インストラクターのサイン入りで各自に
渡され、盛会のうちに閉会した。

遥々と日本からやって来て、スイス・イタリアに近
いフランスの山の中で、こんなに気持ちの通じ合う人
達と知りあい、またショッピングや食事の時など日常
生活の中でも多くの友人が出来た事本当に嬉ばしい。

1月にもインター・スキーでサント・アントンへ
行ったが、期間途中、不幸にも湾岸戦争が勃発した。
ヨーロッパは中近東に近い。トランジットしたフラン
クフルトでの荷物のチェックは厳しく、平和の祭典の
直後だけに嫌な印象として強く残ってしまった。

これらを考えると、いろいろな国に趣味を同じくす
る人達が多勢いて、特に明かるい若者達が戦に巻込ま
れ銃を取るような事は2度と起ってはいけなと考え、
平和の有難さをしみじみ感じる今日此の頃である。



フランス遠征の感想

大盛宏幸

この度、私は3月18日より3月25日まで東京都スキ
ー連盟の御配慮により、1週間と言う短い期間ではあ
りましたがフランス遠征へ行かしていただき大変光栄
に思っております。

さて私は3月11日より3月15日まで長野県、八方尾
根スキー場で行なわれていた全日本技術選手権大会に
出場していたせいもあり、18日の出発の日には若干で
はありますが体も疲れていました。が、遠征先である、
フランス・プラーニュスキー場につき、スキー場を見
た瞬間に私の疲れは一変に吹き飛んでしまいました。
何故かと言うと、あまりのスキー場の大きさと、早く
滑べりたいという思いから、日本での私の疲れは吹き
飛んでしまったのです。

今までにも私はヨーロッパ（オーストリア）のスキ
ー場へは何度も行ったことがありますが、このラ
・プラーニュスキー場のようなビッグなスキー場は生ま
れて始めてでした。

スキー場が広いと言うことも有り、ガイド兼インス
トラクターである、ラ・プラーニュスキー学校の先生
を1人付けていただきました。その先生と言う人がま
た凄い方で、なんと「モノスキーのワールドチャンピ
オン」。3日間スキートレーニングをしていただきま
した。最後の日はモノスキーに挑戦させていただき、
本当に短い期間のトレーニングだったとは思えないほ
ど、充実した実のある、内容の濃い練習ができたと思
っております。

今回のこのフランス（ラ・プラーニュ）の遠征で、
私は、あの大自然を相手に「あー、これこそ本当のス
キーの醍醐味だなー」とつくづく思いました。

そして久しぶりに本当に楽しいスキーができたと思
います。

最後になりましたが今回一緒に行っていただいた東
京都スキー連盟の方々、本当にお疲れさまでした。心
より厚くお礼申し上げます。

飛躍が期待されるスキー部

KDD山岳会

会長 川島 義弘

私達のKDD山岳会は32年前に発足し、山とスキーを愛好する約200名の部員を抱えるクラブです。

スキー部が毎年1月に山岳会員以外でも参加できるオープン行事として主催してきたスキー講習会は、家族的な懇切丁寧な指導に好感が持たれ、永年人気を博してきた。その際に実施するSAJ公認のパッチテストでは、講習会の総仕上げとして全員合格を目指し、その自慢や弁解が夜の部の話題に花を添えてきました。

また、HSAJが主催する全国身体障害者スキー大会への支援参加も、スキー活動をとおしての社会への貢献としてだけでなく、協力参加者自身にも精神的な成長に役立つ活動として継続的に参加しています。

国際通信の24時間提供に伴う交代サービスの時間的な制約による行事運営の難しさを若さと仲間意識で補い、その世代、世代に応じて第一線で活躍しているリーダー格のメンバーが中心となり、時代にマッチした企画運営を行なっています。行事内容も時代の流れに応じて、レジャーとして楽しむ技術を指導する初心者、中級者にウエートのあった講習会に加え、さらに上級を目指し者にプライベートスキーでは得にくいポール競技の経験と技術を身につける場としての期待にも応えるようになってきています。

スキー講習会が現在の指導員3名、準指導員14名の資格者を生むきっかけとなったように、小規模ながらスタートしたポール競技の練習会が公式大会での優勝へと大きな夢を抱いて、健全なスキー愛好者の育成の場として、今後とも運営維持して行く所存です。

最後に、今までご指導頂きました都スキー連盟および関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導をお願い致します。

良き伝統を糧として

東京国税局スキー部

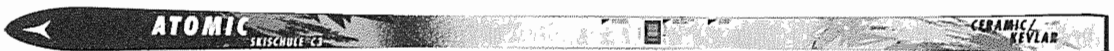
吉川 直明

私達のクラブは、昭和43年10月1日、東京国税局管内の税務署に勤務する三度の飯よりスキーが好きなら者によってつくられ、1年後の昭和44年9月14日、厚生省スキークラブ様のご紹介により都連に加盟、平成元年には都連加盟20周年記念表彰をいただくほどになりました。設立当初は競技指向が強かったのですが、最近ではスキー人口が増えたことなどから、職域団体として職場内の人達のスキー技術の向上などを主とし、基礎スキーが中心となってきました。現在、クラブ員が50名で有資格者も5名となりました。これというのも、「スキーシーズンインコール私達の職場のシーズン」というなかであって、オフに極力休暇を避け（オンのために蓄えておきます）、また、同僚、先輩、後輩、上司及び関係各位の良き理解によるものと感謝しています。

合宿においては、上級者は指導員の資格及び上位級取得、講習会での講師としてのあり方などを考え、中級者以下は早く上級者の域に達することができるよう技術の上達をめざします。スキーの楽しみ方はいろいろですが、技術の向上を図ることがより楽しく、より安全なスキーへの道と考えるからです。

最大の行事は何といても年2回の講習会です。職場の人達を募り、2泊3日の日程で行います。2日間講習を行って、3日目にパッチテスト、いち早くビデオ撮影を取り入れ、毎晩、ミーティングでチェック、3日間「スキー漬」の講習会です。最近はビデオ撮影も便利になったものです。当初はスキーバッグに入れて移動していたのですから。時代とともに講習会なども変わりつつありますが、今後も良き伝統を大切に、職域団体として社会体育に貢献したいと考えています。

磨いてきた世界が違う。



品名: ATOMIC 片 SKISCHULE C3 品番: SRS 24B 輸入業者希望小売価格 ¥99,000

●材質/芯材: 木製(セラミック+ケブラー®) ラミネート: 合成樹脂 滑走面: 合成樹脂(ISO SPEED TYPE B)
●構造/ハイビットロニック® B/AHMS® ●カラー/⑨022 ブラック×タンジェリンオレンジ ●サイズ/180cm~200cm(5cmきざみ)、203cm ●オーストリア製



ATOMIC
S K I S

株式会社 アシックス

●表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。●文章中には、登録商標を記載していません。

●片はATOMIC社の登録商標です。ただし、ケブラー®は米国デュポン社の登録商標です。●商品についてのお問い合わせは、街アシックス消費者相談室までどうぞ。

〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1号 TEL (078) 303-2233(専用)・(078) 303-3333(大代表) 〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 3624-1814(専用)・(03) 3624-2221(大代表)

アットホームなクラブを目指して!!

サンスキークラブ

会長 高橋 友彦

当クラブはS43年に設立され、翌年No.1東京アマチュアスキークラブに推薦戴き、東京都スキー連盟に登録し、現在に至っております。

当クラブ設立時は、競技スキーを中心とした活動をしており、その当時はサンスキークラブの名前も競技会には常連として出ていましたが、現在では設立当時のメンバーとしては会長の私しか残っておらず、基礎スキー指向のクラブとして変遷を経ております。

現在会員数は65名、指導員4名、準指導員6名となり、年々有資格者も増え、クラブとしての安定した基盤を築きつつあります。

当クラブの行事としては、スキーのレベルアップを図るため、11月の初滑りから5月の連休まで毎月1回の合宿を行い、2月と3月の連休には一般の人も交えてのスキーバスを実施しています。また、オフシーズンはクラブ員同志の親睦を深める為、ボーリング大会、テニス合宿、クリスマスパーティーを行っています。このような行事を通して同じ趣味を持つ者として、クラブ員同志の結婚も何組も出ています。

今後は今まで通り着実にクラブ員の輪を増やし、和気あいあいとした雰囲気大切に、スキー技術の向上とスキーを通じての人間形成をめざしていきます。また数年たつとクラブ員の子供も大きくなり、ジュニアスキーの育成にも積極的に取り組んで行きたいと思っています。

最後に都連に御推薦下さいました、東京アマチュアスキークラブに対しまして、日頃の疎縁をこの誌面をお借りしてお詫び申し上げ、貴クラブの益々の御発展をお祈り申し上げます。

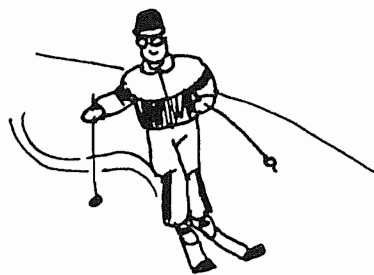
現況と今後

ローデルスキークラブ

会長 富永 義彦

当クラブは、会員数50名、有資格者数20名(指15名、準指5名)東京都スキー連盟加盟19年を迎えるクラブです。会員の内には、SAJ公認スキー学校での教師経験者も多く、都連認定デモ3名を送り出した時期もあり、技術を先行させる内状でしたが現在では、12月車山スキー場初すべり会、年末年始燕温泉スキー場で3泊4日の講習検定会、2月、講習検定会(2泊3日)3月、他クラブ、ステップインスキークラブ(会長、現ブロック員、樋口末吉氏)合同合宿及競技会を行い、ゴールデンウィークは、燕温泉スキー場、ホテル岩戸屋(前SAJ理事、宮沢一英先生)にて、2泊3日の合宿とスキー行事5回を開いております。

オフシーズン中は、月一回親睦会をかねて多種多様な行事を行い、オンシーズン中は、元ブロック員(富永修)現都連専門員(野村明)を柱として、上級者及指導者の研修等を行い、若手の育成に力を入れ、理事会も月数回開き、クラブ運営の活性化を計る様に努力し、都連加盟20年を迎える頃には、会員の充実を図り、ジュニア講習会等も、実現させたいと考えておりますので、各諸先輩の方々の御助言等をお願い申し上げます。



■ 編 ■ 集 ■ 後 ■ 記 ■

今年の冬はシーズン後半、ヤケに雪が降った。準指導員検定(菅平会場)開始日前日のドカ雪による交通マヒに悩まされた受験生も多かったであろう。

3年ぶりに開催されたクラブ対抗競技会も、新しく菅平会場に移され、都連55周年記念雪上行事として盛大に行われた。多くの若い選手に混って、シニアの顔なじみ大先輩達が元気良い滑りを見せてくれたことは嬉しかった。スキーが生涯スポーツであることを証

明してくれた競技会でもあった。

都会は桜からツツジの花へと移り春たけなわ、だが雪国では残雪多く、フキノトウの芽も出番を待っているのでは。今年は5月中十分春スキーが楽しめるだろう。みなさんの活躍を期待したい。

SAT編集委員会委員長 久保田友江
委員、市川友之・吉田茂・総務部専門委員